



5 | 24 少年消防クラブ始動

新十津川小学校で新十津川町少年消防クラブの入団式が行われました。

少年消防クラブは、少年、少女の明るく広い心をつくり、火災予防への意識を高め、住み良い社会をつくることを目的とし、今年度は4年生6人、5年生7人、6年生4人の17人が入団しました。

齊藤正太くんは、「みんなで努力し、火災のない明るく平和な町をつくりまします」と誓いの言葉を述べました。



5 | 25 緑でいっぱいの町に

とっぷ子どもゆめクラブの「森をつくろう」植樹が、防災センター前で行われ、小学生41人が参加しました。社会福祉法人明和会からは苗木が、(有)誠和運輸からは肥料が提供され、栗、くるみ、グミの苗木50本を植えました。

代表の悪七廣雄さんは、「120年ほど前は、新十津川は原野だった。空地があれば、人間の手で森に戻しましょう」と呼びかけました。

参加者は、「自分で植えた栗の木が大きくなったら栗拾いに来たい」と夢を膨らませていました。

5 | 24 貢献者へ栄誉

新十津川町体育協会表彰式が、改善センターで行われ、藤林亘さん、平田昇さん（表彰式欠席）、北村弘さんの3人が表彰されました。

藤林さんへは、「ソフトボールの振興普及にまい進したことによる貢献賞」が、平田さんと北村さんには「ゲートボール連盟の組織運営に貢献したことによる振興賞」が贈られました。

藤林さんは「競技は続けることが大切。これからも力を注いでいきたい」と話していました。



5 | 30 農高軟式テニス部が全道大会出場

新十津川農業高校の軟式テニス部が、地区大会男子ダブルスで3位となり、創部以来初の全道大会出場権を獲得しました。

全道大会に出場する吉本裕樹さん（写真左）と能代谷彰宏さん（写真右）は、「相手は全道レベルで手強いが、まずは1勝を目指し、全力を尽くします」と意気込んでいました。

また、顧問の佐々木誠司さんは、「学校代表として他選手と交流を深めるのと、夢は実現できるという気持ちで頑張してほしい」と話していました。





5 | 9 ふるさと学園大学入学式

ゆめりあでふるさと学園大学入学式が行われ、203人が入学しました。

学長の植田満町長は、「ふるさと学園大学が有意義な場所となり、全員が皆勤で修了できることを望みます」と述べました。

また、学生代表の藤林亘自治会長は、「互いに助け合い、笑顔で卒業できるよう頑張りましょう」と入学生へ呼びかけました。



5 | 11 本への思いやり実感

新十津川小学校5、6年生6人が、1日図書館員の体験をしました。参加者は、本の貸出しや返却など、図書館員の業務を体験し、最後には修了書を受け取りました。

参加者の坂田晴香さんは、「本にブックカバーを付ける作業が大変だったけど、図書館の仕事が分かりました」と話し、図書館員の本への思いやりを感じていました。

5 | 10 パトロール隊出動

11台の青色回転灯車両が、パトカーを先頭に市街地をパトロールしました。

出動に先立ち、安全・安心協会の寺田吉孝会長は、「5月11日から20日までは春の地域安全運動期間のため、町内で犯罪が起きないように重点的にパトロールに当たりたい」と、防犯意識向上へ決意を新たにしました。



5 | 11 ガーデニングの春到来

新十津川農業高校で、ガーデニングフェアが開催されました。

気温には恵まれませんでしたでしたが、生徒が心をこめて育てた花苗、野菜苗を求めて200人以上が来場しました。

「飲むヨーグルト」も大変好評で、準備した500本はあっという間に完売しました。

白鳥校長は、「町内外から多くの方に来ていただきうれしい限り、生徒たちの良い刺激になります」と話していました。

